

視察等報告(復命)書

三次市議会議長 様

報告者氏名 黒木靖治



下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	印	経理責任者	
視察議員	黒木靖治			
期 間	平成30年7月17日(火)～平成30年7月18日(水)			
視 察 先	・清溪セミナー実行委員会(日本青年館ホテル会議室:東京都新宿区霞ヶ丘4-1)			
視 察 用 務	・「住民主体の地方自治を進めるため」のセミナー			
視察先対応者	・清溪セミナー実行委員会			
概要及び所見	【研修内容】 第23回 清溪セミナープログラム			
	一日目 7月17日(火)			
	○講義Ⅰ 「会津若松市議会の挑戦:政策形成サイクルの確立」			
	講師 会津若松市議会議長 目黒 章三郎			
	会津若松市の議会改革の取り組みを紹介。住民の声を受け止め、政策づくりに生かすための住民に向けた様々なアプローチや、議員が行政と協力して政策していく過程			
	など、会津若松市の取り組み事例の報告。			
	○講義Ⅱ 「住民主体の議会改革とは何か」			
	講師 廣瀬克哉(法政大学副学長)			
	各議会において議会基本条例の普及は進み、改革の行動メニューも定着したが、「メニューをこなすこと」が議会が議会改革ではない。住民のための議会改革はどうあるべきか。また、それはどのようにして実現可能か。会津若松市議会を諸事例を			
	読み解く。			
「議会改革を進めるために」グループワーク				

概要及び所見	二日目 7月18日(水)
	○講義Ⅲ「2019年統一地方選挙浮かび上がる政策課題」
	講師 福岡 政之 之廣瀬克哉(法政大学副学長)
	安倍政権が掲げる地方創生、地域経済の活性化や原発の再稼働などが、統一地方選を通じて、どう評価されるのか、その選挙の結果が国政にどのような影響を与えるのか。政策課題にに対して地方議員はどう向き合うべきか。
	○講義Ⅳ「地方財政の現状と課題」
	講師 大沢 博(総務省自治財政局財政課長)
	平成30年度地方財政計画や地方財政に関する施策をされ、国・地方の財政健全化目標と地方の一般財源確保の見通し、幼児教育の無償化等を実施するに当たっての国・地方の役割分担や財源確保の在り方など、当面の考え方を示される。
	○講義Ⅴ「真の地方創生と議会の役割」
	講師 片山 善博(早稲田大学大学院政治学研究科教授)
	国が主導する地方創生には限界が見られる。住民と地域に視点を置いた真の地方創生を実現するには何が必要か。その際、地方議会はどのような役割を果たせるか、そのためにはどのような議会改革が求められるかを解く。
	【所見】
	国の借金財政が増える中また少子高齢化が一段と進んでいる状況で、地方自治体の自治能力及び地方議会の在り方が問われている。
	近年の議員のなり手不足や投票率の低下、政務活動費の不正使用などいろいろと問題があり一段と住民の政治不信が高まっている中で、いかに本来の姿である住民主体の地方自治を実現していくかが課題である中で、本来の二元代表制の意味を議員がしっかりと理解して、住民目線で首長(行政)と対峙していく事が重要であると考えます。首長や議員の評価は、任期の期間だけではなく引退してから評価されるべきであるが残念なことに、引退したら「知らぬ存ぜぬ」がほとんどの現実である。
	自分も含めて議員の資質の向上、意識改革を進めて行かなければならないと強く思います。また、自治体の現状を住民に積極的に公開して、住民と議論をして意識を変えていく事も必要だと思えます。
	以上、今回のセミナーを受講して、議員自身が資質の向上、意識改革を常日頃から考えていかなければならないと思いました。